



平成22年4月28日

各位

上場会社名 樺本興業株式会社
 代表者 取締役社長 樺本 哲也
 (コード番号 8052)
 問合せ先責任者 取締役 専務執行役員 宮崎 捷
 (TEL 06-4795-8806)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成22年1月29日に公表いたしました平成22年3月期(平成21年4月1日～平成22年3月31日)の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	60,000	0	100	80	2.48
今回発表予想(B)	62,700	△30	140	60	1.86
増減額(B-A)	2,700	△30	40	△20	
増減率(%)	4.5	—	40.0	△25.0	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	88,776	2,396	2,484	1,136	35.30

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	58,000	0	150	100	3.10
今回発表予想(B)	58,200	△130	210	150	4.65
増減額(B-A)	200	△130	60	50	
増減率(%)	0.3	—	40.0	50.0	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	82,027	1,898	2,281	1,070	33.19

修正の理由

当社並びに当企業グループ全体の当連結会計年度の業績は、第4四半期に入り、わずかながらの景気上昇を背景に、受注・売上高は予想に比べわずかに増加いたしました。主に設備投資関連の需要回復が遅れ、営業損失となりました。これは、国内民間設備投資が期初に大幅な落ち込みをし、その回復力も極めて弱かったため、グループをあげた営業努力にもかかわらず、通期でこの落ち込みをカバーできなかったことによるものが主因であります。また経常利益につきましては、為替の影響などもあり前回の予想を上回る見込であります。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上